

# 恵那市上下水道事業経営審議会 (第1回)

---

## 説明用資料(水道事業)

令和5年11月21日  
恵那市上下水道課

# 説明内容

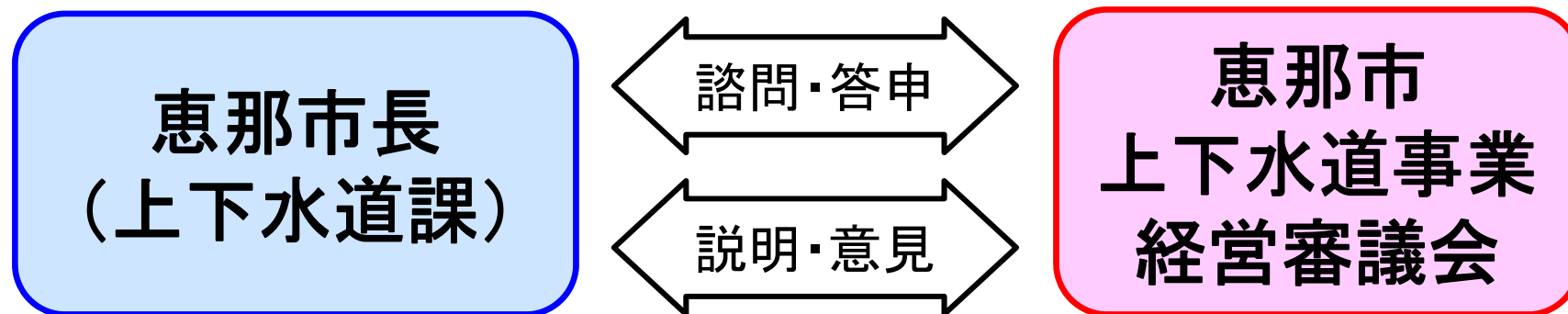
---

1. 審議会の概要
2. 恵那市水道事業経営戦略の改定について
3. 恵那市水道事業の経営状況等について

# 1. 審議会の概要

## 【審議会委員の事務】

- 恵那市長(事務局:上下水道課)の諮問に応じて、上下水道事業に関する経営や計画に関すること等(主に経営戦略の見直し)を審議し、その結果を答申する。
- 上下水道事業の経営状況(経営戦略の進行管理)などについて、上下水道事業管理者(恵那市長)に意見を述べる。
- 任期:2年(令和5年度~令和6年度)



# 1. 審議会の概要

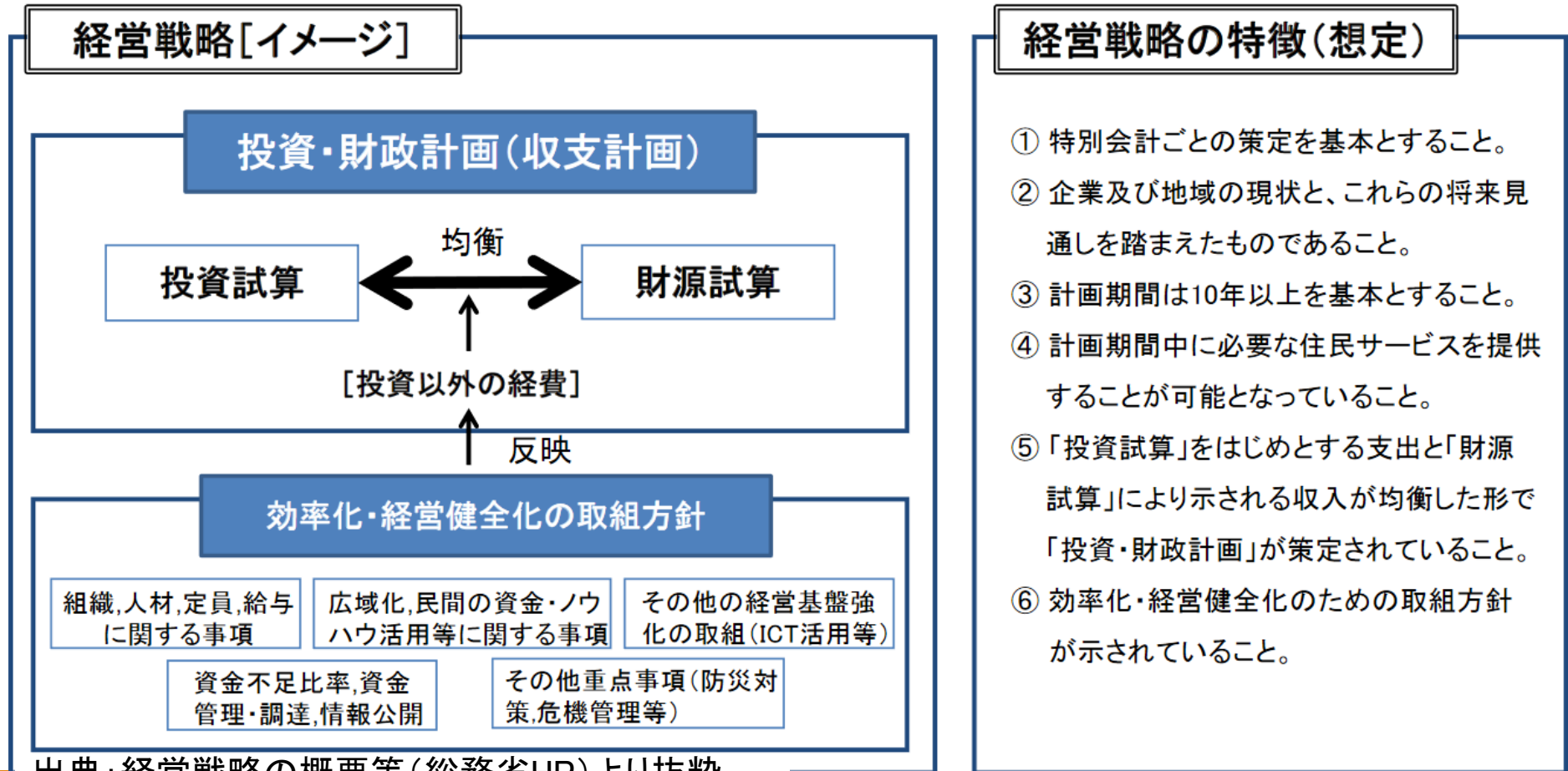
## 【会議の進め方(審議会スケジュール)】

開催時期	諮問案件・議事内容
第1回 (R5.11.21)	審議会の説明、経営戦略改定の背景に関する説明、恵那市上下水道事業の現状と課題の説明
第2回 (R5.12.22)	第1回審議会意見への対応、財政見通しの試算結果の説明、経営戦略(改定案)の審議
第3回 (R6.1頃)	第2回審議会意見への対応、経営戦略(改定案)の審議 ※第2回審議会にて意見があった際に開催予定
第4回 (R6.3頃)	答申 ※パブリックコメントの結果を受けて開催

※各会議の審議状況に応じて、開催時期及び開催回数が変更となる可能性あり

## 2. 恵那市水道事業経営戦略の改定について

### 【経営戦略の構成】



出典: 経営戦略の概要等(総務省HP)より抜粋

## 2. 恵那市水道事業経営戦略の改定について

### ■経営戦略とは

- ✓公営企業が将来にわたり、住民サービスの提供を安定的に継続できるような中期的な基本計画のこと
  - ➡経営の現状、計画期間内に収支が均衡するような投資・財政計画、経営健全化に向けた取組方針を公表する

### ■策定の目的

安定的に事業を継続していくために、経営環境の変化に対応しながら、**経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る**

- ・人口減少によるサービス需要の減少
- ・物価高騰による維持管理コストの増加
- ・施設の老朽化 …

住民生活に必要なサービスを安定的に提供するには…？



## 2. 恵那市水道事業経営戦略の改定について

---

### ■経営戦略改定(策定)についてご審議いただきたいこと

- ・ 恵那市の上下水道事業が健全な経営を図るため、今後の経営の在り方についてより広く市民の皆様からご意見をいただき、将来の料金改定を見据えた上下水道事業の経営戦略見直しに関する事項についてご審議いただく。

### ■答申をいただきたいこと(令和6年3月頃を目途)

- ・ 水道事業
  - 水道事業における経営戦略の改定について(計画及び将来の料金改定など)
- ・ 下水道事業
  - 下水道事業における経営戦略の改定について(計画及び料金の妥当性など)

## 2. 恵那市水道事業経営戦略の改定について

### 【経営戦略の概要】

経営戦略＝

将来にわたって安定的に事業を継続していくための  
**中長期的な経営の基本計画**

### 恵那市水道事業経営戦略(令和元年10月策定)

計画期間:平成31年度～令和10年度(10年間)

#### 《背景》

- 策定から5年が経過し、策定当時から水道事業の状況が変化
- 国から見直しの要請(R4.1.25)
- 今後の水道事業運営に向けた適切な財源確保の検討が必要



### 3. 恵那市水道事業の経営状況等について

#### 【恵那市水道事業の沿革】

昭和31年から供用を開始した恵那市水道事業は、給水人口の増加に伴う事業拡張を経た後、平成29年4月に17の簡易水道事業を上水道事業に経営統合し、現在に至っている。

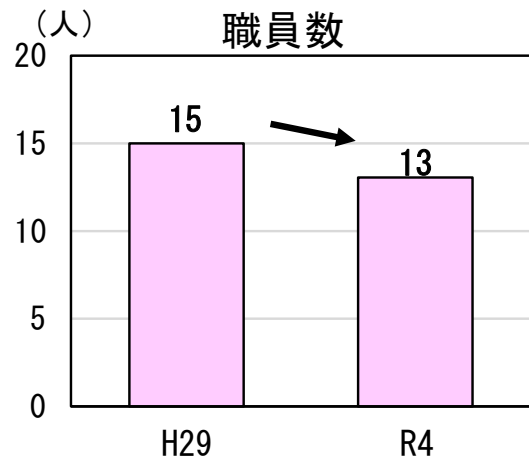
認可	事業内容	計画給水人口	計画1日最大給水量
S31.3	恵那市水道事業創設	15,000人	3,750m <sup>3</sup> /日
S39.12	第3次拡張事業(給水区域・給水量の拡張)	19,500人	6,825m <sup>3</sup> /日
S46.3	第5次拡張事業(県営東濃用水の受水)	32,000人	15,360m <sup>3</sup> /日
S62.3	第6次拡張事業(佐々良木、東野地区の拡張)	32,949人	16,253m <sup>3</sup> /日
H11.1	第6次拡張第2期変更事業(一部膜ろ過処理)	34,384人	16,253m <sup>3</sup> /日
H16.10	法人格変更・創設(合併創設認可)	34,384人	16,253m <sup>3</sup> /日
H19.3	第7次拡張事業(姫栗、小野川地区の拡張)	32,000人	14,500m <sup>3</sup> /日
H29.4	簡易水道事業統合	49,420人	22,500m <sup>3</sup> /日

※計画給水人口等に変更が無い一部拡張事業等は省略

### 3. 恵那市水道事業の経営状況等について

#### 【職員数の現状(ヒト)】

本市の水道事業に係る職員は合計13人(令和5年4月1日時点、下水道事業との兼務含む)となっている。年齢層に大きな偏りはないが、水道総務係においては40歳未満の職員が1名であることから、若手職員の人員補強が望まれる。



※職員数は下水道事業との兼務を含む

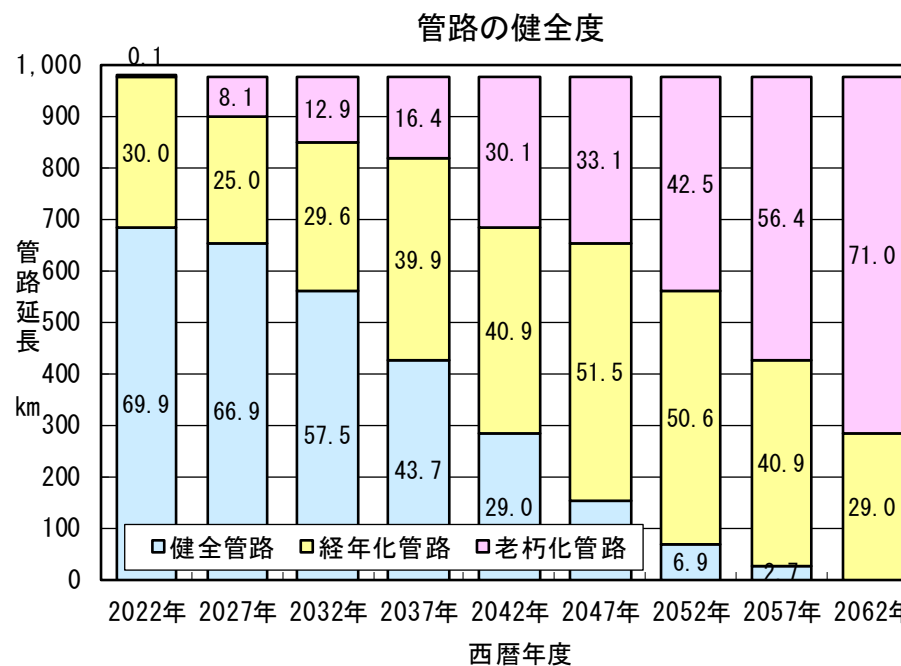
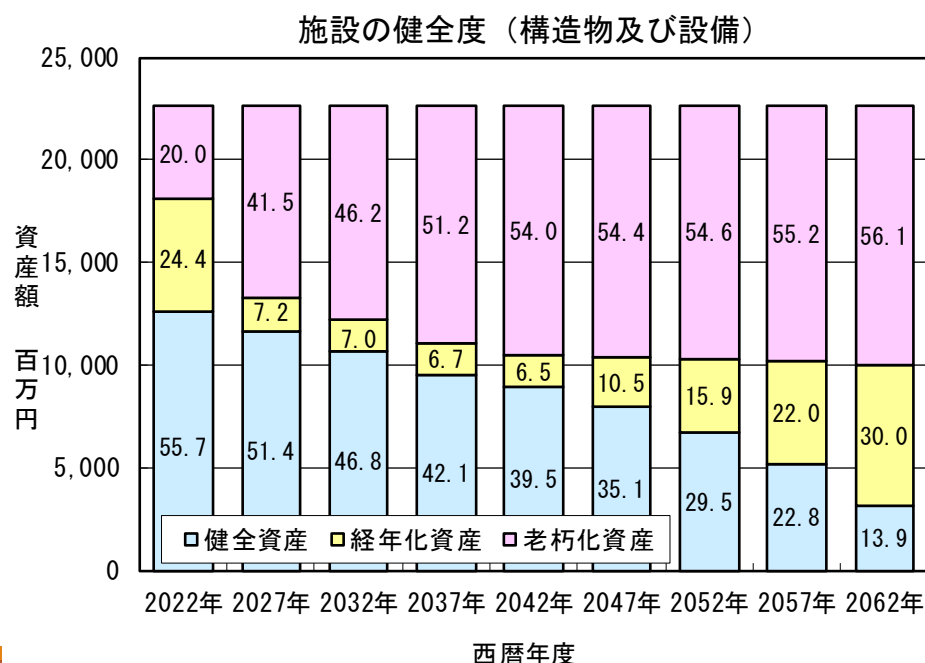
	職員数の内訳(上下水道課、人)					
	課長	下水道 総務係	水道 総務係	事業係	計	
					水道	全体
20代以下	0	1	1	4	5	6
30代	0	0	0	0	0	0
40代	0	2	3	1	4	6
50代	1	1	1	2	4	5
60代	0	0	0	0	0	0
計	1	4	5	7	13	17

※ ■ 水道事業に係る職員

### 3. 恵那市水道事業の経営状況等について

#### 【施設・管路の現状(モノ:健全度)】

法定耐用年数を過ぎて使用している資産は、令和4年度時点で施設が20.0%、管路が0.1%であり、このまま更新しなかった場合、10年後の令和14(2032)年度にはそれぞれ46.2%、12.9%と倍以上になることから、計画的な更新が必要となる。

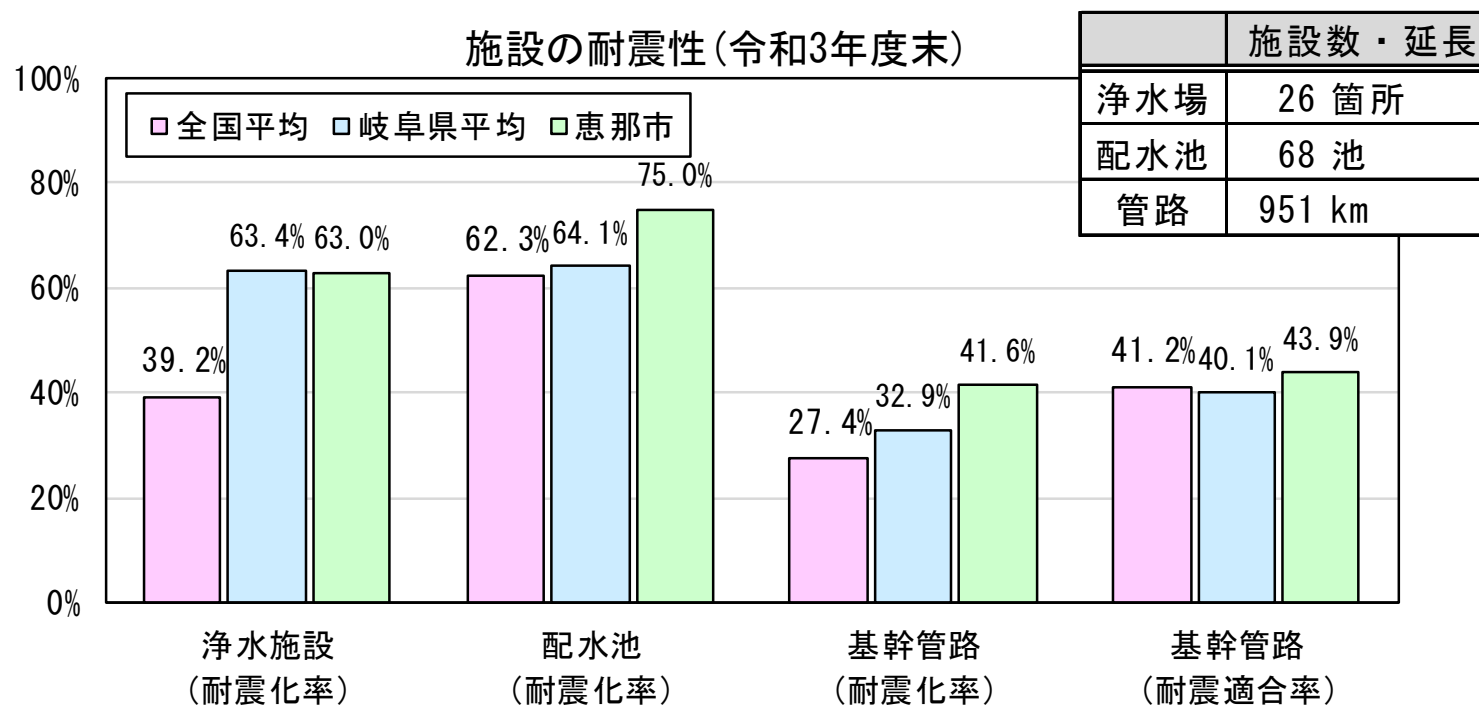


※老朽化:更新基準年数を超過、経年化:法定耐用年数を超過、健全:法定耐用年数以内

### 3. 恵那市水道事業の経営状況等について

#### 【施設・管路の現状(モノ:耐震性)】

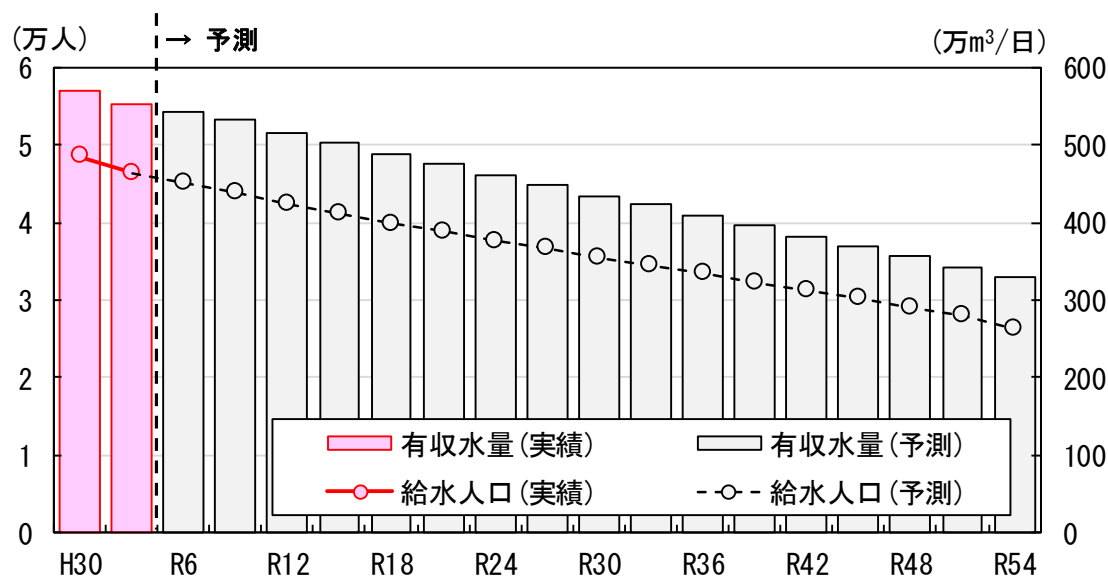
本市水道施設の耐震化率は、全国平均を上回っているが、水道水の安定供給に向け今後も耐震化事業を進める必要がある。



### 3. 恵那市水道事業の経営状況等について

#### 【水道事業の現状(カネ)】

最新実績を用いた水需要予測の結果より、50年後の令和54年度には、給水人口が約2.6万人(令和4年度の56.6%)、有収水量が330万 $m^3$ (令和4年度の59.7%)まで減少する見込みである。これにより、給水収益の減少及びそれに伴う財政の悪化が懸念される。



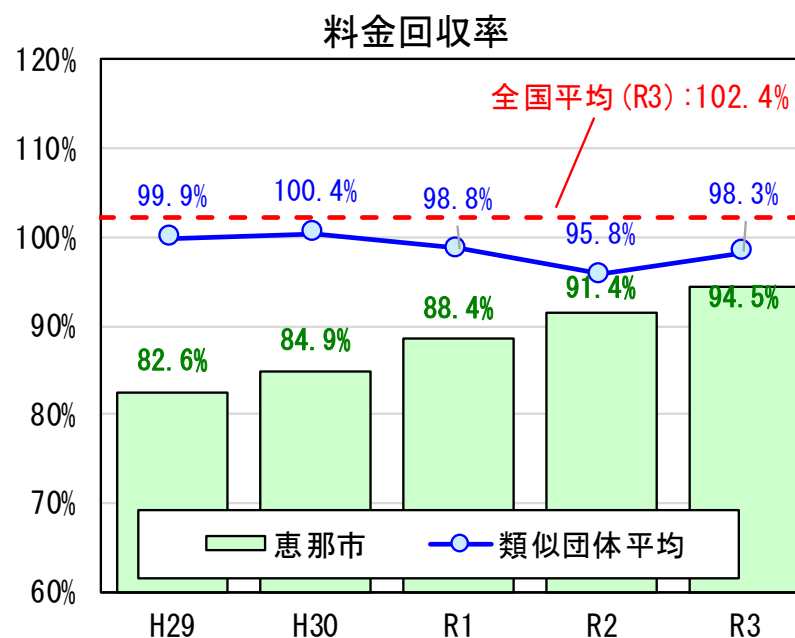
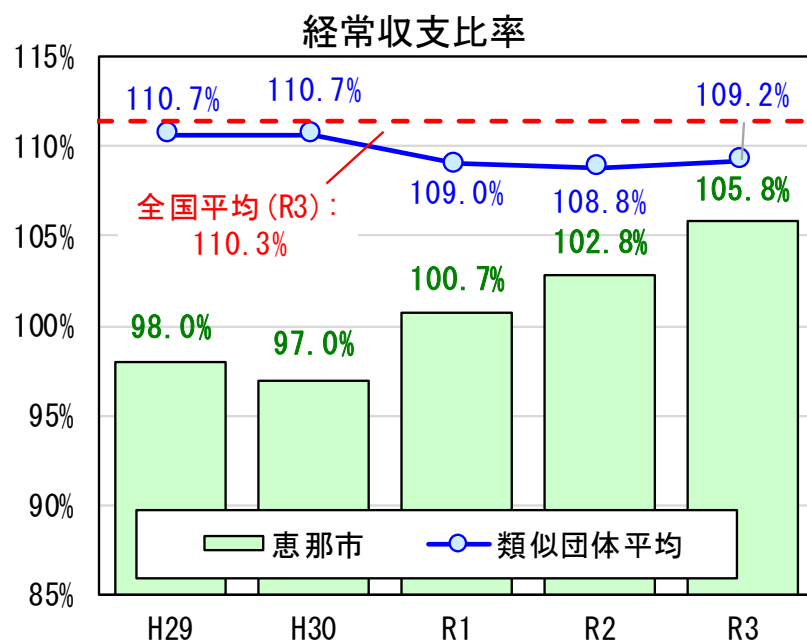
単位：百万円(税抜)

費目	H30	R1	R2	R3	R4
営業収益	1,222	1,219	1,200	1,206	1,213
営業費用	1,634	1,546	1,443	1,398	1,518
営業外収益	480	445	392	378	369
営業外費用	122	106	106	99	81
特別利益	0	1	0	0	3
特別損失	0	1	0	18	6
営業利益	-411	-327	-242	-192	-305
経常利益	-53	12	43	87	-18
純利益	-53	12	43	69	-20

### 3. 恵那市水道事業の経営状況等について

#### 【水道事業の現状(カネ)】

経常収支比率・料金回収率ともに改善傾向が見られるものの、全国平均や類似団体平均に比べ低く、料金回収率においては100%に達していないことから、経営改善に向けた取組が必要である。

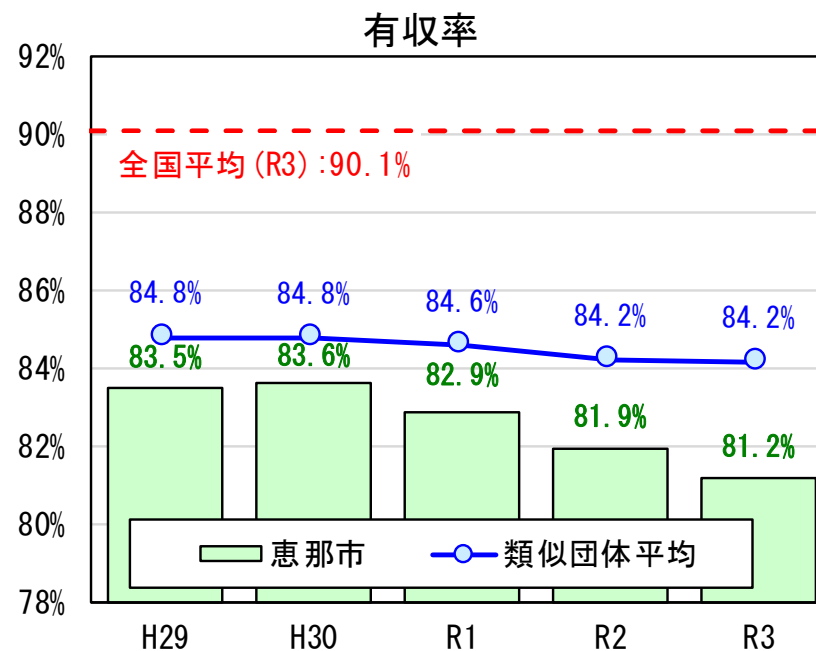
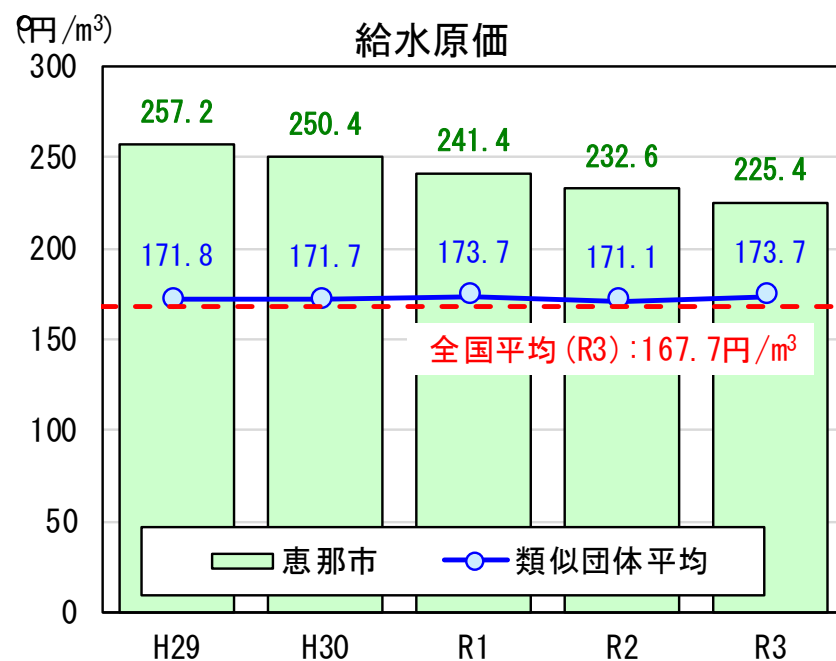


- ・経常収支比率：経常費用に対する経常収益の割合。100%以上となっていることが望ましい。
- ・料金回収率：給水原価に対する供給単価の割合。100以上となっていることが望ましい。

### 3. 恵那市水道事業の経営状況等について

#### 【水道事業の現状(カネ)】

給水原価は改善傾向が見られるものの、給水原価・有収率ともに全国平均や類似団体平均に比べ低く、特に有収率は低下傾向が見られていることから、施設規模の適正化や着実な管路更新等が必要である



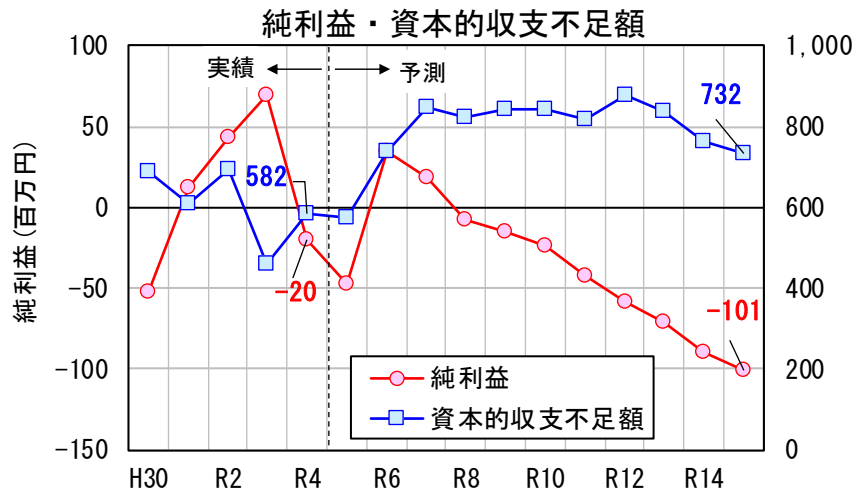
- ・給水原価: 1m<sup>3</sup>の水道水を作るための費用(製造単価)。
- ・有収率: 給水する水量に対する料金収入があった水量の割合。

# 3. 恵那市水道事業の経営状況等について

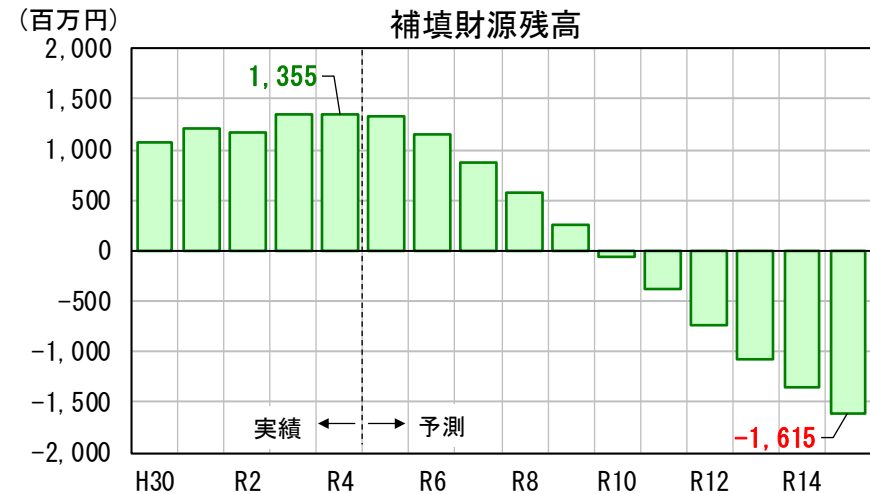
## 【水道事業の現状(カネ)】

令和6年度以降の企業債借入れを行わずに現行の水道料金を維持した場合、令和10年度には補填財源残高がマイナスになる見通しとなった。

▼収益的収支・資本的収支(H30～R15)



▼補填財源残高(H30～R15)



※令和5年度は予算書の値、令和6年度以降は平成30年度～令和4年度実績と令和5年度予算の数値を踏まえ推計した現時点の暫定値(今後の検討を踏まえて推計値が変化する可能性がある)



### 3. 恵那市水道事業の経営状況等について

#### 【恵那市水道事業の課題】

##### 《ヒト》

- ・職員数の減少に備えた人材育成・技術継承が求められる

##### 《モノ》

- ・施設の健全度維持や有収率向上のため、着実な施設更新が必要
- ・施設の強靱化、安定供給に向け、各施設の耐震化が必要
- ・整備費用抑制に向け、施設規模の適正化が必要

##### 《カネ》

- ・水需要の減少に伴い、給水収益の減少が見込まれる
- ・今後更新需要の増加等により経営環境の悪化が懸念される

これら課題の解消に向けた取組を現在も実施中である。  
取組の実施状況や最新の動向を踏まえ、水道事業の将来見通しを把握する必要がある。

### 3. 恵那市水道事業の経営状況等について

#### 【恵那市水道料金(一般家庭用)】

##### 《現在の料金体系》

- ・恵那市水道料金 平成9年7月に改定後、26年間改定なし。
- ・平成25年6月 市町村合併後の料金統一

基本料金	2ヶ月 (税抜き)
口径 13mm	2,500円
口径 20mm	2,500円
口径 25mm	6,560円
口径 40mm	17,780円

従量料金	1m <sup>3</sup> あたり (税抜き)
1m <sup>3</sup> ~18m <sup>3</sup>	76円
19m <sup>3</sup> ~40m <sup>3</sup>	132円
41m <sup>3</sup> ~100m <sup>3</sup>	210円
101m <sup>3</sup> ~	232円

### 3. 恵那市水道事業の経営状況等について

#### 【岐阜県下市町村の水道料金(一般家庭用)(税込み) R5.4.1 岐阜県水道企業課調べ】

